

四日市版コミュニティスクール報告書（令和 5 年度総括）

四日市市立 桜小学校

校長 東 せい

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

本校は、四日市版コミュニティスクールの指定を受け、11年目になります。運営協議会の通称名を『桜～絆～委員会』（平成27年度より）とし、学校・家庭・地域の三者の絆をより深めていくことを確認し合っています。

『桜～絆～委員会』での活動や学校関係者評価を通して学校教育の更なる充実を図り、学校教育目標「豊かな心でみがき合い、自ら考え行動する子どもの育成」と開かれた学校づくりの推進に努めています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

今年度は、新型コロナウイルスの5類移行を受け、以前に行っていた図書読み聞かせボランティアの方々による本の読み聞かせを、1年生を中心に毎月1回、「朝の読書」の時間に実施することができました。また、「米づくり体験」も、地域・保護者の方にご協力をいただくことができ、5年生が田植え・稲刈り・脱穀の体験活動を行うことができました。米づくり体験を楽しみにしていた児童が意欲的に取り組む姿が見られました。

さらに、昨年度に引き続き様々な取り組みも進めました。図書飾りボランティアの方々には、読書への関心が深まるような図書室前の飾り付けをしていただきました。季節を意識して工夫された飾りは、子ども達も興味を持ち、立ち止まって見入ったり友達との会話の話題になったりしていました。



環境美化目的で整備をすすめている「地域連携花壇」は、正門玄関付近にあり、園芸委員会の児童が中心となって、環境ボランティアの方々と連携して、今年度も、春と秋に「定植」を行いました。子ども達は一緒に花の苗を植えながら、挨拶や言葉を交わすなど、意欲的に関わろうとする姿が見られました。また、今後の花壇の様子を楽しみに、水やりや草取りなど一生懸命に世話をしようとする気持ちが行動にも表れていました。

登下校時の見守り等では、運営協議会委員さんや「桜地区安全・安心まちづくりの会」・「こどもをまもるまち」登録者の方々にご協力をいただきました。本年度は、不審者対応や猿の出没への対応も含め、児童の登下校時間帯には気を付けてみてもらったり、学校へ連絡をしてもらったりしました。

運営協議会の方が中心になって、運動場の草刈りを地域の方に呼びかけてい

ただき、7月から9月にかけて2回、運動場を中心に草刈りを行っていただき、児童が安全に活動できる場所になりました。

運営協議会開催については、桜中学校区内の三校による合同運営協議会の開催を今年度も実施することができ、児童や地域に関する情報共有の場となりました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

① コミュニティスクールの指定を受けていることで、自治会やPTA、民生委員等の地域の様々な団体の皆様と活動を共にしていく機会が増え、学校教育活動を多面的に支援していただき、地域と学校との繋がりがさらに密になり、お互いの関係の深まりを毎年感じる事ができています。

② 12月に行った保護者アンケートの項目「学校は、家庭や地域と協力・連携して子どもを育てる取り組みを進めていますか。」については、肯定的評価の割合が93%と昨年度より1ポイント高くなりました。今年度は、新型コロナウイルスが5類移行となり、これまでの活動を一部復活することができ、家庭・地域と連携した教育活動を進める一歩を踏み出すことになりました。今後は、学校・家庭・地域の三者の連携・協力がさらに深まるように取組を工夫しながら進めていきます。

3 今後に向けて

コミュニティスクールを推進していくには、保護者だけではなく地域の方々に対しても、様々な情報を適切に発信し、双方向のコミュニケーションの充実を図ることが大切だと思われまます。

各自治会に回覧していただいている『さくらっ子』（学校だより）も地域に定着してきています。また、学校ホームページでは、「学校・学年の様子」や「地域連携の様子」のページで、児童の様子や学習活動をはじめ、環境・図書ボランティアさんの活動の様子や桜～絆～委員会の様子などを発信しています。

来年度は、これまで中断していた1年生と地域の「桜たのし会」との昔遊びでの交流、3年生の昔の暮らしや生活についての聞き取り、4年生の智積養水の清掃活動、6年生の地域の「桜ボランティア協会」にお世話になる車椅子やアイマスク、手話などの福祉体験等の地域と連携した取り組みを実現できるよう、コミュニティスクールの方々の協力を得て進めていく予定です。

また、桜中学校区での三校（桜中・桜台小・桜小）合同の会議も恒例となり、桜中学校区全体で児童・生徒のよりよい成長を見守っていこうとする機運が高まっています。

最後に、コミュニティ指定から11年を経過して、地域とのつながりの一層の深まりを感じているとともに、今後も地域と小学校だけの繋がりだけでなく、地域と小学校・中学校がこれまで以上に連携を深め、9年間の義務教育期間における児童生徒の健やかな成長を育むことができるようにと考えています。

別紙B

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 桜小学校

委員長 伊藤 隆夫

校長 東 せい

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回 運営協議会	委員委嘱、委員長・副委員長選出 活動方針及び事業計画について
6		
7	第2回 運営協議会 (桜台小・桜中との 合同運営協議会)	授業参観・協議
8		
9		
10	臨時 運営協議会	さくらっ子スポーツフェスティバル (運動会) 参観・懇談
11	第3回 運営協議会	授業参観・三泗音楽会リハーサル参観 協議
12		
1		
2	第4回 運営協議会	6年生を送る会参観 学校関係者評価、次年度に向けて
3		